

～地域とともにある学校づくりをめざして～

寿都町コミュニティ・スクールだより

第7号 平成27年12月2日 発行

発行者：寿都町学校運営協議会連絡会

各校学校運営協議会長 インタビュー

昨年度から学校運営協議会委員として活動している、寿都小、潮路小、寿都中の会長に現状を伺いました。

「学校」「子供」が次第に「自分事」に

—学校運営協議会に関わって良かったことや変化を感じることは？

舩会長 自分の子供が学校に行っていた頃は、PTA活動で先生や保護者との関わりが多かったが卒業後は無関心になっていた。今は学校から届く「学年だより」や会議での話し合いなどによって先生方との距離が身近に感じるし、学校に対する関心が高まってきている。

潮会長 自分が学校支援に携われない時でも、他の協議会委員がいることで、色々と情報を聞いて共有することで、相互に学校や子供たちとの連携を持つことができている。

舩会長 日常の中に子供や学校を意識するようになった。今後も微力ながら地域社会の一員として「学校応援」に協力していきたい。



舩会長 もし、子供たちに時間が取れるなら、委員から地域などのことを話す機会というのもよいと思う。また、今の先生方には時間的な「ゆとり」が無いように感じる。大変お忙しいとは思いますが、先生方も積極的に地域に出てきて欲しい。例えば、自分の趣味を地域に広げたりして頂ければ、保護者や地域の人は大歓迎してくれると思う。

—この協議会に関わって苦勞していることは？

舩会長 学校運営協議会が各校に設置されてから2年目。寿都町の学校にふさわしい形態となるように、まだまだ模索しているところ。

潮会長 (協議会を運営している)事務局から学校支援活動の案内をいただいても、日程が合わずなかなか活動に協力ができないことかな。

舩会長 苦勞というより、協議会委員と先生方との双方の意見が近づくために、懇親会などで色々な話をすることによって「子供たちのため」の話し合いになる。

寿都を離れても愛着の持てる町に

—子供たちにぜひ伝えたい寿都ならではのことは？

潮会長 漁業が基幹産業。体験学習を通して生産過程、販売、企画などの取組ができればよいかな。



あとは、山や前浜での遊び体験。

舩会長 地元に残れば自ずと寿都のことを知る。でも、高校卒業後9割以上が進学や就職のため町を離れてしまう。寿都に居る18年間で歴史や農業・漁業・水産加工による製品など「自分の町の特色を知ること」が大事。

舩会長 寿都町の自然にふれあい、町の産業や歴史を学び、感受性豊かな成長期に子供たちが出会った人々たちとの体験や経験から郷土を慈しむ心を育ててもらいたい。

寿都の取組 発表してきました

10月30日に岩見沢市で開催された「コミュニティ・スクール導入促進等協議会」で、先進地の取組の1つとして、寿都のコミュニティ・スクールについて実践発表を行いました。

また制度導入に向けて、コミュニティ・スクール推進委員の安齋氏から『なんのためにこの取組をするのか、共通の思い、中身を作るのに時間をかけるのが重要』とのお話がありました。

寿都町からの参加者からは、「学校運営協議会の設置が、学校・地域を良くする、つながるための道具(ツール)で、設置が目的ではないことを再認識しました」「各地域の実態に合わせたそれぞれのコミュニティ・スクールのあり方があるのかなと感じました」との感想があり、寿都の取組を振り返る契機ともなりました。



寿都の発表の様子

各学校運営協議会の代表で構成される連絡会 臨時会議を開催

8月に各校で学校運営協議会第2回定例会議を行い、その中で「来年度以降もコーディネーターが必要」「今後も地域・家庭・学校の三者が話し合う機会、積み重ねが必要」という3校共通の課題が出ました。これを受けて、11月6日に連絡会の臨時会議を開催しました。

会議では、コミュニティ・スクール活動をさらに深めるために、引き続きコーディネーターの配置を要望することや、さらなる熟議を重ねていくことを確認しました。



寿都小学校運営協議会

委員が日曜参観やPTA講演会に参加



学校行事にも委員が出席しています。日曜参観の1年生生活科「あきのおもちゃであそぼう」では、子供たちが作ったおもちゃでお店を開店。遊んだり景品をもらったりしました。

潮路小学校運営協議会

潮路小のみんなと一緒に、
学校が楽しくなるように応援したい、
地域のおせっかいなおじさん・おばさん

自分たちがどんな存在なのかを子供たちに伝える言葉を、委員で話し合って上記のように決めました。

今年度はそれぞれの委員が、学校の授業や行事、PTA活動などに関わりを持つ機会を増やし、学校のこと、子供たちのことを知り、学校運営協議会として何ができるのか考えていきたいと思っています。

寿都中学校運営協議会

8月に開催した学校運営協議会の定例会議の中で

コミュニティ・スクール2年目の今年度は、子供たちや学校の様子、授業を見て、地域とともにある学校づくりを目指して議論をしましょう！



という意見から、委員が積極的に「校内弁論大会」などの学校行事や地域の方を招いて行った授業などを参観しています。次回の寿都中学校運営協議会は12月に開催します。

各校CS担当 (※CSとはコミュニティ・スクールのことです)

寿都小学校 Tel.62-2030

潮路小学校 Tel.64-5003

寿都中学校 Tel.62-2158